

事業の概要

事業名	一般国道400号 西赤田工区整備事業	事業主体	栃木県
事業箇所	西赤田工区 那須塩原市西三島～上赤田		
事業の目的、事業発案の経緯・背景			
<p>本路線は、茨城県水戸市を起点とし、那須塩原市を經由して福島県西会津町に至る広域幹線道路である。また、東北縦貫自動車道の西那須野塩原インターチェンジにダイレクトにアクセスし、塩原温泉郷などの観光地へのアクセス道路にもなっており、県北地域における観光や産業等を支える重要な路線である。</p> <p>しかし、那須塩原市西三島地内から同市上赤田地内までの区間においては、2車線の道路であり、主要な交差点に右折車線がない上、歩道も十分に整備されていない状況にあることから、慢性的な渋滞発生に加え、歩行者等の通行にも支障を来している。</p> <p>また、北側に接続する上赤田工区が平成25年8月に供用され、現在、南側に接続する三島工区の整備を進めているところであり、未整備区間である本工区が交通のボトルネックとなっている。さらには、直轄事業である一般国道4号西那須野道路も事業中であり、今後さらなる交通量の増加が予想されることから、交通容量の拡大が急務となっており、本工区の整備の必要性が一層高まっている状況である。</p> <p>このため、本工区の整備により、安全で円滑な交通を確保するとともに、観光産業をはじめとする各種産業の振興と物流機能の向上を図る。</p> <p>また、県議会県土整備委員会においても地元那須塩原市より早急な整備が要望されている。</p>			
事業内容			
【計画の基本スタンス】			
<ul style="list-style-type: none"> 交通渋滞の解消と歩行者や自転車の安全性向上のため、約2,500m区間について現道を拡幅する。 車線を2車線から4車線に増やし、自転車通行帯の確保や主要な交差点に右折車線を設置するとともに、歩道の新設や拡幅を実施する。 			
<ul style="list-style-type: none"> 総延長：約2,500m 標準幅員：25.0m（車道13.0m、中央帯2.0m、歩道3.5m×2、自転車通行帯1.5m×2）（3種2級） 車線数：4車線 計画交通量：23,200台/日（平成42年） 			
事業予定期間	平成30年度～平成39年度	事業見込額及び内訳	総事業費 約28億円 事業費内訳 測量設計費：約1億円 用地補償費：約15億円 工事費：約12億円 財源内訳 国費：55% 県費：45%
事業概要図			
別紙記載			
県計画への位置付け			
<p>本路線は、「県土づくりプラン2016」において、重点施策である「地域の活性化を支える道路網の整備」に位置付けられている。</p> <p>また、「とちぎみちづくり構想」において、広域幹線道路網である「八溝・塩原幹線」に位置付けられている。</p>			
他計画・他事業との関連			
<p>那須塩原市の都市計画マスタープランにおいて、市街地間の連携強化及び広域幹線道路の整備として、本路線が位置付けられている。</p>			

事業の評価

評価視点	1. 事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> 産業・経済の成長を促進させるために、県北地域における拠点間の連携・交流の強化を図る。 交差点を中心に慢性的な交通渋滞が発生していることから、本工区の整備により、円滑な交通を確保し、観光や産業の振興と物流機能の向上を図る。 歩道も十分に整備されていないことから、本工区の整備により、歩行者や自転車の安全な通行を確保する。
	2. 事業の適時性（今事業に着手する理由等）	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年に上赤田工区が供用され、現在、三島工区を事業推進しているところある。さらには、直轄事業の一般国道4号西那須野道路が事業中のため、今後本工区を通過する交通量の増大が予想され、交通容量の拡大が急務となっていることから、西赤田工区の来年度の事業化を図る。
	3. 事業の適地性	<ul style="list-style-type: none"> 車線数及び幅員の設定に当たっては、平成24年4月に都市計画決定された都市計画道路3・3・7インターチェンジ通りと合致する計画とした。
	4. 事業手法の適切性（県が事業主体となる理由等）	<ul style="list-style-type: none"> 一般国道400号の現道を拡幅するものであり、道路管理者として県が事業を実施する。
	5. 事業により予想される効果及び影響	<ul style="list-style-type: none"> ○経済効果 <ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比 (B/C) 2.7 ・総便益 (B) 63.1億円 ※供用後50年間の効果を金銭に換算し現在価値化したもので、走行時間短縮(46.8)、走行経費減少(12.0)、交通事故減少(3.7)、温室効果ガス等削減便益(0.6)の合計である。 ・総費用 (C) 23.1億円 ※建設費と供用後50年間の維持管理費をそれぞれ現在価値化して加算したもの。『事業の概要』の「事業見込額及び内訳」とは異なる。 ○県北地域における拠点間の連携強化による地域間交流の活性化 ○塩原温泉郷などの観光地や西那須野塩原インターチェンジへのアクセス向上による、観光産業や地域の経済・産業活動への支援 ○災害時等の救援活動や物資輸送に資する道路ネットワーク強化 ○現道拡幅や歩道設置による、歩行者や自転車の安全な通行の確保
	6. 事業コスト縮減等の可能性	<ul style="list-style-type: none"> 再生材の利用や、建設発生土の公共工事間流用に努め、コストの縮減を図る。
事業の対応方針(案)		本事業については、平成30年度より着手する。

事業概要図



【渋滞状況】

1



2



【標準横断面図】

